



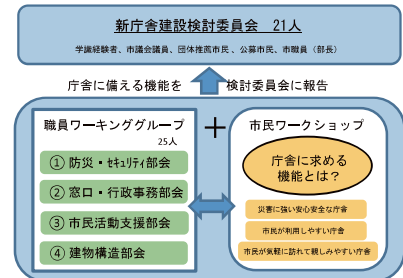
新庁舎建設事業 NEWS

 vol.
1

新庁舎建設にあたり、新庁舎建設検討委員会の検討がスタートしましたので、その検討状況をお知らせします。

この新庁舎建設事業は、国の財政支援を活用するため、平成32年度工事着工を目指しています。そのため、今年度の基本計画策定では、検討委員会の体制を「検討一体型」とし、学識経験者、市議会議員、団体推薦市民、公募市民、市職員により組織し、その下に部会として、新庁舎に備える機能を検討する職員ワーキンググループ、市民ワークショップを開催し、多くの市民の皆さんの意見を取り入れ検討を進めます。

検討一体型による検討体制



第1回 新庁舎建設検討委員会を開催しました

第1回検討委員会を8月22日に開催し、委員委嘱された21人の中から委員長及び副委員長を選定し、市長から委員長に対し新庁舎建設の基本計画案の策定について諮問書が手渡されました。

会議では、検討一体型による検討体制や基本構想をたたき台として検討を進めること、今後のスケジュール、会議の公開等を確認した後、現庁舎と文化会館の施設見学を行いました。

なお、検討委員会の会議録は、市ホームページや市行政情報コーナーで随時公表しています。また、会議を傍聴することもできます。



先進地視察に行ってきました

検討委員会では、新庁舎建設の検討にあたり、他の自治体の事例を参考にするため、先進地視察を2班に分かれて実施しました。

視察した庁舎等は、いずれも老朽化や耐震性の不足、障がい者や高齢者に配慮したバリアフリー等への対応が課題となり建替えた施設で、市民の利便性に配慮され、特に耐震等の災害対策や最新の省エネ設備など、建設後の維持管理費を抑える取組みがされていました。

この視察を参考に、新庁舎に備える機能等を検討委員会で今後検討していきます。

【視察先】第1班(10月1日): 北広島市庁舎、札幌市民ホール

第2班(10月5日): 当麻町庁舎、名寄市民文化センター



北広島市庁舎

第1回 市民ワークショップを開催しました

第1回市民ワークショップを10月11日に開催し、「どんな新庁舎になってほしいか」をメインテーマに、災害時に庁舎に必要な機能や高齢者や障がいのある方にとって使いやすい庁舎等について、公募で集まった市民が意見交換しました。出された市民意見は、職員ワーキンググループの部会で検討し、次回の市民ワークショップで報告する予定です。

なお、職員ワーキンググループは、①防災・セキュリティ部会、②窓口・行政事務部会、③市民活動支援部会(文化会館機能含む)、④建物構造部会の4部会に分かれ8月から検討をスタートしています。

